

1 復旧の概要

県では、東日本大震災による被災状況を踏まえ、次の考え方で青野沢川災害復旧事業を進めてまいります。

- ①堤防の高さ：最高でT.P.+8.0m
(数十年～百数十年程度の頻度で発生する津波に耐えられる高さで復旧します。)
- ②復旧の範囲：河口から約1,150mの区間
- ③堤防の幅：20～30m
- ④堤防の形：盛土での堤防を基本的な形としますが、まちづくりの状況なども踏まえて決定します。

2 測量調査について

青野沢川の復旧工事に先立ち、現地の測量調査を次のとおり実施いたします。

- ①調査範囲：右図の赤の範囲
(片岸50m程度を想定しております。)
- ②調査期間：平成24年4月から10月ごろまで
- ③調査内容：測量・地質調査（ボーリング）

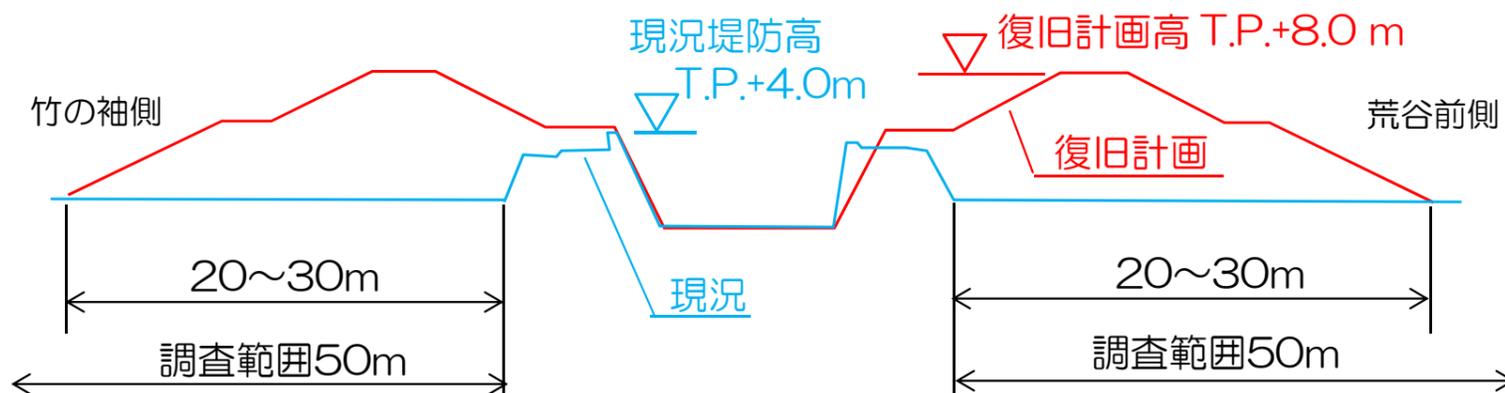
※調査員は身分証明書を携帯しております。
ボーリング調査の際は個別にご連絡いたします。

お問い合わせ先

- 宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第一班
担当者：千葉 0226-24-2564
- 調査設計会社：セントラルコンサルタント（株）
担当者：遠藤 052-223-0379
- 用地測量会社：（株）北水コンサルタント
担当者：高橋 0220-22-2514

標準断面図

※上流側から下流を見ている図です



3 今後のスケジュール

復興事業の進捗状況によりスケジュールが変わる可能性があります。

	H24.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H25年度	H26年度	H27年度	
地元説明会		■					■									
測量調査	■	■	■	■	■	■	■	■								
設計作業	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
用地買収								■	■	■	■	■	■	■	■	■
復旧工事													■	■	■	■



1 復旧の概要

県では、東日本大震災による被災状況を踏まえ、次の考え方で只越川災害復旧事業を進めてまいります。

- ①堤防の高さ：最高でT.P.+11.3m
(数十年～百数十年程度の頻度で発生する津波に耐えられる高さで復旧します。)
- ②復旧の範囲：河口（水門）から国道45号手前までの約430mの区間
- ③堤防の幅：30～45m
- ④堤防の形：盛土での堤防を基本的な形としますが、まちづくりの状況なども踏まえて決定します。

2 測量調査について

只越川の復旧工事に先立ち、現地の測量調査を次のとおり実施いたします。

- ①調査範囲：右図の赤の範囲
- ②調査期間：平成24年4月から10月ごろまで
- ③調査内容：測量・地質調査（ボーリング）

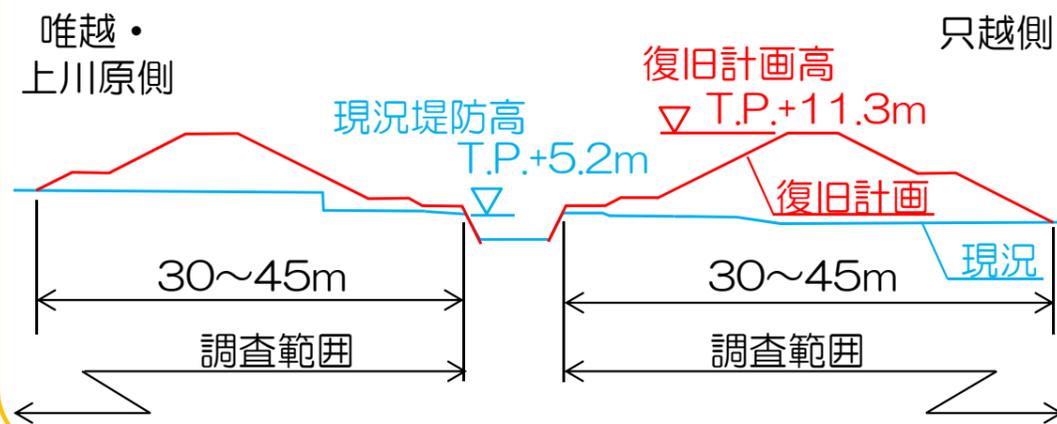
※調査員は身分証明書を携帯しております。
ボーリング調査の際は個別にご連絡いたします。

お問い合わせ先

- 宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第一班
担当者：千葉 0226-24-2564
- 調査設計会社：（株）復建技術コンサルタント
担当者：斎藤 022-217-2027
- 用地測量会社：（株）北振技研
担当者：瀬戸 0220-22-2764

標準断面図

※上流側から下流を見ている図です



3 今後のスケジュール

復興事業の進捗状況によりスケジュールが変わる可能性があります。

	H24.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H25年度	H26年度	H27年度
地元説明会	■						■								
測量調査	■														
設計作業	■														
用地買収							■								
復旧工事													■		

